科目名：成人看護学実習Ⅱ	必修	2単位（90時間）
（Adult Nursing Practice Ⅱ）		

履修年次/時期：3年次 通年　　授業形態：実習

主担当教員：棚橋泰之

主担当教員詳細：実務経験 看護師13年：実務・教育経験を活かし、周術期患者への支援が理解できるよう指導する

担当教員名：石川 智子，石井一義，久世美帆

学修目的	手術を受ける患者の身体的・心理的・社会的特徴と手術による侵襲や生体反応を理解し、術後合併症を予防し回復を促進する看護について学ぶ。 関連するCP：CP1,CP3,CP4,CP5,CP6　　科目No. KNp-303		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	（1）生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		（2）医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	（1）教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		（2）専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		（3）社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	（1）多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		（2）優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		（3）看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	◎
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	① 周術期にある患者を身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解できる。 ② 麻酔および手術による身体侵襲について理解できる。 ③ 術後の回復促進への援助ができる。 ④ 手術による身体機能の変化を理解し、退院後の生活の適応に向けた援助ができる。 ⑤ 術前術後を通して、患者と家族の心理状態に応じた援助ができる。 ⑥ 周術期看護の特徴と看護の役割が理解できる。 ⑦ 看護学生としての倫理観をもって、主体的に実習に取り組むことができる。		
授業概要	周術期にある成人・老年期の患者を看護の対象とし、必要な看護を学ぶ。		
授業計画	（実習施設） 横須賀共済病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、 横須賀市立総合医療センター、横須賀市立市民病院 （実習方法） 手術を受ける成人・老年期にある患者を受け持ち、術前から術後を通して必要な援助を実施する。詳細は成人看護学実習Ⅱ要項を参照。 （実習期間） 2026年5月11日～2026年10月7日までの、いずれかの10日間で実施する。		
評価方法	ルーブリックに基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。 実習に関するフィードバックは実習の評価面談時に伝える。		
教科書	授業で使用した教科書と授業ノート		
参考書	必要時、紹介します。		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先	在室時は調整し対応。不在時は下記メールに連絡ください。 棚橋泰之：3号館13階 研究室 tanahashi@kdu.ac.jp		